



国際ロータリー会長
ジェニファーE.ジョーンズ
第 2790 地区ガバナー

小倉 純夫
第 3 グループガバナー補佐
星 聡

第 1316 回

2022-2023 年度

Weekly Report

Chiba-Higashi Rotary Club

千葉東ロータリークラブ

会 長 江上 俊彦

幹 事 手塚 隆雄

本日のお客様

国際ロータリー第 2790 地区ガバナー

小倉 純夫様

第 3 グループガバナー補佐 星 聡 様

国際ロータリー第 2790 地区幹事長

織田 信幸様

地区幹事 小柳 俊介様

地区幹事 岡村 徳久様

ガバナー補佐担当 渡邊 圭介様



会長挨拶 江上会長



皆様、こんばんは

本日は、第 2790 地区ガバナーの小倉様をお迎えしてのガバナー公式訪問となります。

本日のガバナー公式訪問に先立ちまして、8 月 29 日に第 3 グループの星ガバナー補佐とガバナー補佐担当の渡邊様に当クラブのクラブ協議会に出席いただき、各委員長から今期の活動方針：活動計画の発表を聞いていただき、講評をいただきました。

ありがとうございました。

各委員長の活動方針が計画を基に実践していき、クラブ会員が活動を通して協力し合い、目的を達成することにより、更に良いクラブへ、現在より明日が、少しでも良くなることを目標において実践していけるクラブとなれば良いと考えています。その為に、目標、計画を 将来の夢:ビジョンを描いて、そのビジョンを実現していく為に、具体的な活動へと行動が起こせるように皆さん、一人一人がロータリアンとして楽しいなと感じられるようにしていきたいと考えています。

本日は、第 2790 地区ガバナー小倉様をはじめ、ガバナー補佐：星様、地区幹事長：織田様、地区幹事：小柳様、地区幹事：岡村様、ガバナー補佐担当：渡邊様に例会出席をしていただいています。

このあとに行いますクラブ協議会で当クラブ、当地区の今期活動がより良いものになることを当クラブの今期が充実したクラブ活動が出来ますように、本日のクラブ協議会が有意義になりますように、会員の皆様、各委員長皆様、本日は、このあとよろしく願います。

以上をもちまして会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告 手塚幹事



時間の都合上割愛させていただきます。

ガバナーご挨拶



皆さん、こんばんは。第 2790 地区ガバナーを務めさせていただきます。松戸 R C 所属の小倉純夫と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日は楽しみに伺いました。本日で公式訪問 26 回目となります。他クラブを回りどのように運営されているかを拝見するのが楽しみとなっています。先程懇談会を行いクラブの現状と課題を協議させていただきました。どこのクラブの課題も会員数減少し活動が停滞している現状で、江上会長も会員の増強を何とかしたいとの話がありました。具体的な方策等をクラブ協議会で話していきたいとのこと、また田中会長エレクトからも身に詰まられるお話もあり、会員増強も難しい面もあるかと思いますが、皆さんで共通の危機意識を持ち前向きに活動していただきたいと思います。本日お話しさせていただく内容は、これからのロータリーを考える、松戸 R C の P G 土屋亮平さんがご自分で書かれた詩です、また、戦略計画についてお話しさせていただきます。本日は、皆さんの忌憚のないご意見を伺えればと思います。

- 1 本年度 RI テーマと地区活動方針について
 - ・ 2022 年度 RI 会長ジェニファー・ジョーンズ氏(RI 初の女性会長)は、本年度テーマを IMAGINE ROTARY (イマジン ロータリー)として、「より良い未来をイマジン(想像)し、世界により良い変化を!」と呼びかけ

た。これを受けて本年度地区スローガンとして次のとおり決定。「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう!」

- ・ 従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう!」は、第 2 スローガンとする。ロータリーの基本は親睦(fellowship)と奉仕(service)

- 2 ガバナーの任務・役割について
 - ・ クラブの活性化、元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為の DLP, CLP の活用→クラブ、会員が 主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討(ビジョンと行動計画)
 - ・ グループ再編問題、ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと 地区とクラブとのコミュニケーションの在り方、信頼関係の再構築職業奉仕の大切さ(四つのテスト)、クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認、例会は心のオアシス(佐藤千寿氏)
 - ・ コロナ禍の中でのロータリー活動(パンデミックの教訓)2 年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず(第 7 波の到来)→クラブ例会・行事等の中止(又はオンライン化)→親睦奉仕活動の停滞、会員の減少→最近の感染者激増→コロナとの共生(会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討)
- 3 ロータリーの歴史を振り返る
 - ・ 1905 年→親睦と相互扶助から出発(一業種一会員制)→社会奉仕の考え→四(五)大奉仕へ
 - ・ ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集り(ロータリーの友 6 頁)
 - ・ ロータリーの目的、理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」「奉仕の理念」とは→他人を思いやり、他人の為になることをしようとする考え方 セントルイス大会決議

- 23-34 ロータリーの奉仕の基本理念の確立
 - ・ ロータリーの魅力とは、一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」

(Enter to Learn, Go forth to Serve)

例会(親睦)→出合い、交流(切磋琢磨)
→人間としての成長=信用→安定した経営奉の実践

- ・ 日本のロータリーは周回遅れか?
(ガラパゴス化)

Vocational Service(職業奉仕)に対する考え方の違い⇒「奉仕の理念」

- 4 ロータリーの変化とその対応
 - ・ 2001 年:一業種一会員制の撤廃 2013 年:職業のない人の入会資格を認める
 - ・ ロータリーのライオンズ化(団体寄付中心) I serve から We serve へ
 - ・ 2016 年の規定審議会一柔軟性の採用 {例会と出席} {会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件をクラブ細則に含めることができる
 - ・ 2019 年規定審議会 更なる柔軟性の確認
メイクアップ期間を同じ年度内に拡大、職業分

類の制限撤廃，ロータリーアクトクラブに RI 加盟を認める

- ・何故ロータリーは柔軟性を採用したのか？→ RI の危機感（会員の高齢化，減少）→北米，日本等 での会員の減少とインド，ヨーロッパ，韓国での会員増加（別紙）→悪循環か？ RI と TRF の一体化→ {いずれライオンズクラブとの合併か？地域に応じた自治権裁量権を認める方向か？

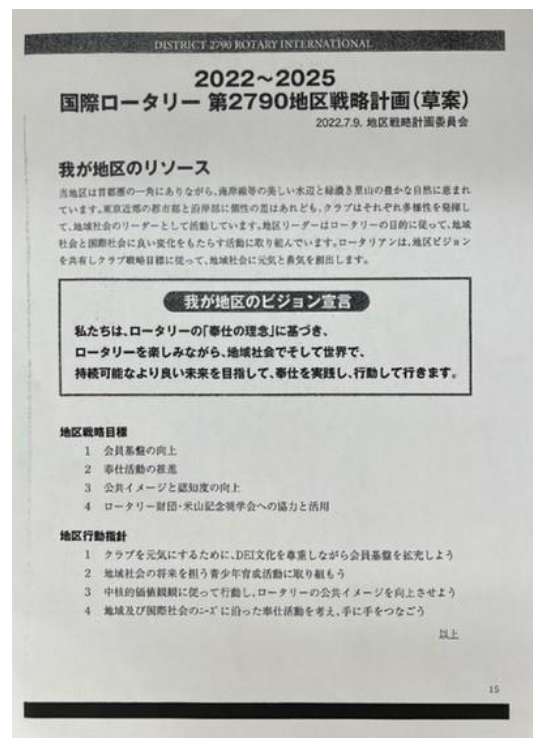
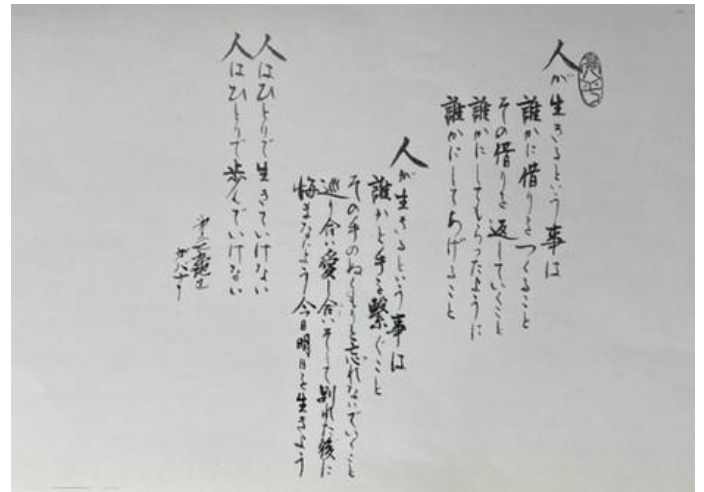
これからのロータリーについて

- ・ロータリーの目的，四つのテスト，中核的価値観（親睦，奉仕，高潔性，多様性，リーダーシップ）は不変
- ・ロータリーのビジョン声明，行動計画，DEI（多様性，公平性，包摂〔生〕）の提唱
- ・未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確（北米の会員の急減が 実施の理由 か）2つのパイロット地区で実施（2022 年 4 月規定審議会決議）

6 アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか

例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ，女性だけのクラブ，若者や老人だけのクラブ等、元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは？→CLP の活用

- 1、クラブの中長期目標とその実現のための行動計画の策定（毎年の見直しとチェック）
- 2、会員同士の交流を深める（クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEI の浸透を図る）
- 3、会員の積極的参加を促す（例会，奉仕活動）財団の補助金を利用して会員全員で奉仕 プロジェクトを策定し，奉仕の意識を養い，それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動
- 4、会員の増強（退会防止）若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する
- 5、クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施
- 6、IT の推進（コロナ禍での例会の在り方を再考する）

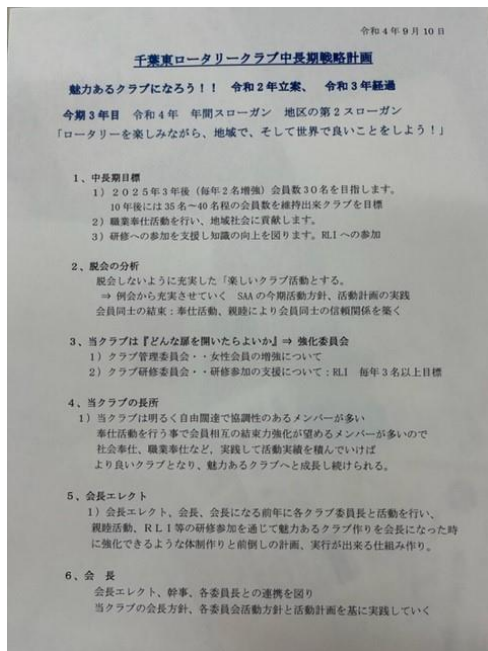


クラブ協議会

<進行> 江上会長



「千葉東RC中長期戦略計画」



千葉東ロータリークラブ中長期計画について
今年度の会長活動方針は、私が継続でコロナ禍において、活動が出来ていませんで、引き続きの続投をしましたので前期を引き継いでいます。
令和4年年度スローガンは 地区の第2スローガンを掲げさせていただきます。
「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう！」
「ロータリーを楽しむ」ロータリーを楽しむためにはロータリーのことを知って、理解して、行動して。
「元気な会員の集まる、元気なクラブ」地区運営基本的考えとして小倉ガバナーが考えられている「元気なクラブ」が掲載されています。

「元気なクラブ」とは

1. 明確な目標があり、それに向かって会員同士が協力し合って活動している
2. 会員間のコミュニケーションが取れていて、風通しがよく、相互の交流が活発である
3. 例会が楽しく充実していて、情報の受発信が行き届いている。

以上の3項目を挙げられています。

当クラブも是非、実践項目に組み込んで「元気なクラブ」を続けて行けるようにしたいと考えています。

当クラブの【2022-2023年度会長活動方針】として
昨年は、10の活動方針でしたが、
今年度は1つプラスして、
11の活動方針としました。コロナ禍のなか、昨年より引き続き、私が会長を務めさせていただくにあたって理事、役員の皆様も継続でお願いをしました。

1つ増やした活動方針は

3.10年後のクラブ目標（ビジョン）を立ててその実現の為に行動計画を立案し実践する。です。
また、11に掲げました

「楽しくなければロータリーではない」ロータリーを楽しむため、会員のRLIへの参加を促す。ロータリーを楽しむためには、会員一人一人がロータリーを理解してロータリアンとして行動出来るように、RLIの各コースを学習する。各コースを学習してロータリーリーダシップを身につけ、各会員の更なるロータリー活動が楽しめるようになりたいと考えています。

中長期の計画は、別紙の通り、2年前に鳴海PPが作成したものを継続して修正を加えました。具体的には会員増強の数字を掲示しました。
会員の皆様と計画を具体的に実行できるようにして、1つ1つ実現させていきたいと考えています。
今年、来期、来々期と実行が出来ますようによろしくお願いします。

「今後のクラブ運営について」



武田クラブ運営委員長

【想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を、私たちは 毎朝 目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると 知っています】

これは、今年度国際ロータリー会長、カナダ出身のジェニファー・E・ジョーンズさんが、最初に述べられたお言葉です。

皆さん、こんばんは。本年度管理運営委員長の武田でございます。

本日はご多忙の中、国際ロータリー第2790地区

小倉 純夫ガバナーをはじめ

第3グループガバナー補佐 星 聡 様

地区幹事長 織田 信幸 様

地区幹事 小柳 俊介 様

地区幹事 岡村 徳久 様

ガバナー補佐担当 渡邊 圭介 様

ようこそ 千葉東クラブにお越しいただきました。
誠に感謝致しております。ご指導のほど
どうぞ宜しくお願い致します。

国際ロータリー 初の女性会長の テーマ

『 イマジン・ロータリー 』

私が、ロータリーに入会して 25年のテーマの中で、最も解りやすく 心に入り込むテーマだと感じました。もう、何百回聴いたでしょうか。

【 ジョンレノン イマジン 】

1971年 ベトナム戦争当時の物です。

人類の平和を願った歌でしたが、残念です。

悲しいかな、何十年経過してもなお、イマジンの願いは届きません。

私は、去年も管理運営委員長で、ガバナーをお迎えし、これからのクラブ運営のことを述べさせて頂きました。

この委員会の役割は、クラブの効果的な運営の為に活動するものです。クラブが効果的に運営されて、初めて地域社会に奉仕し、会員を維持し、クラブや地区、ひいては国際ロータリーのリーダーとなる会員を育成することが出来ます。

今後のクラブ運営について、いくつか申し上げます。

- 1：クラブの年次目標達成を促すような委員会目標をたてる

- 2 : 例会や特別プログラムを企画する
- 3 : 会員とのコミュニケーションを図り、クラブのウェブサイト进行管理する
- 4 : 会員間の親睦を図るための行事や活動を企画する
- 5 : そして、他にもクラブを効果的に運営するためのあらゆる活動を行うもちろん、これらの企画は各委員会と連携して進めてまいります。

この3年間、新型コロナウイルス感染のため、あらゆる活動を中止せざるを得ませんでした。そんな中でも いち早く当クラブはウェブ例会を催して これを成功させました。去年までは、人類が経験しなかった事態に直面し、ロータリーの精神そのものの持続が困難であったといえますが、さらに一年が経過して、一部ですが 光明も見えてきました。

国際奉仕の中で、当クラブは、台湾 五福ロータリークラブ、韓国 ナムソルロータリークラブ など姉妹クラブとの交流をウェブ上にて再開することなどを、現在模索しております。そして 来たるべき 未来の合同奉仕を夢見て進めてまいります。ジョーンズ 会長 が唱えた、積極的な会員の参加を促すために、「ロータリーには、適応と改革が必要である」と述べられました。それには、DEI の推進が必要であると訴えられました。それは、

D : ダイバーシティ Diversity 多様性
E : エクイティ Equity 公平さ
I : インクルージョン Inclusion 包括

ダイバーシティは、あらゆる背景・変化・経験・自我持つ人がいるということエクイティ は、すべてのロータリー参加者を 公平にすることインクルージョンは、自分は歓迎され、尊重され、大事にされると、皆が感じられるような体験を創造し、そのような環境を育む ということです。

柔軟なクラブ運営のためには、

- 1 : 例会の頻度を減らしたり
- 2 : 現在の例会の曜日や時間・会場が適切かどうか
- 3 : 実例会か、オンラインで行うか など、検討をしています。

これらのあたらしい運営で、新規の会員の増強にもつながります。地道に、入会希望者を見つける努力は惜しみません。何度も言うようですが、ロータリーの本質は、もちろん奉仕であると考えますが、基本は、会員の親睦であると思います。親睦無くして会員相互の理解・信頼・友情と特別な関係を構築することはできません。やがてそれが 皆で集う超私の奉仕となり、人類に貢献できる奉仕活動へと、つながってゆくのです。

- 1 : クラブ協議会を増やしましょう
- 2 : 例会と活動を振り返り、話し合しましょう
- 3 : ロータリーの知識を学びましょう
- 4 : クラブの強み・弱点を理解しましょう
- 5 : 地区の行事に積極的に参加して、この千葉より世界にメッセージを発信しましょう
そして 自分の仕事に誇りを持ち、一生懸命元気に働きましょう。

最期になりますが、
昨年の10月2日の土曜日、第3グループ合同、稲毛海浜公園・稲毛の浜の清掃行事がありました。コロナ禍 中、久しぶりに7クラブ合同の社会奉仕活動を実践して、皆がロータリアンの実感が湧いたと大変好評でありました。私は、その時、正に 活動再開ののろじだと、この場で申し上げました。しかし、その後、たった一人の心無い一国の指導者

のせいで、全世界が困窮し、現在に至っております
今、世界は、経済・文化・宗教に至るまで対立し、間違いなく戦時下なのです。私たちロータリアンが手に手つないで 友の輪を作らなければなりません。

ジョンレノン イマジン

第2節 私の好きなところ

国なんか無いって、想像してごらん
それは難しくなんてないんだよ
国や宗教の為に、殺しあったり、死ぬことはないよ
さあ、想像してごらんみんながただ 平和の中で生きているって僕は一人じゃないはず
いつか、あなたもみんな、仲間になって
そして 世界はきっとひとつになるんだ
明るい世界の未来を 共に見に行きましょう

本日はありがとうございました

「奉仕活動のあるべき姿」



穴倉奉仕プロジェクト委員長

ロータリーの奉仕活動は奉仕の理念に基づいて行われることが基本であります。このことは次に述べるクラブ定款から導かれます。さて、奉仕の理念とは何を意味するのでしょうか。これはロータリーの2つの公式標語に象徴的に表わされていると思います。

一つ目は「超私の奉仕」2つ目は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」です。

英語でいうと service above self そして one profits most who serves best となります。

奉仕とは英語の SERVICE の訳語です。

そしてクラブ定款第5条に目的がうたわれています。普段読まない定款ですが、この機会におさらいするの
もよいのではないのでしょうか。

第5条

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

本年度の小倉ガバナーは「今一人一人ができることを実行しよう」という地区運営方針を掲げられています。今自分に何が出来るかを考え、出来ることを確実に実行することが奉仕の理念の実践であり、職業奉仕であると説かれています。本日のテーマである奉仕活動のあるべき姿はクラブ定款第6条に五大奉仕部門としてうたわれています。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の5部門です。

当クラブでは奉仕プロジェクト委員会の下に職業奉仕委員会、国際交流委員会、社会奉仕・青少年委員会があります。

クラブ奉仕についてはクラブ管理運営委員会の担当となっていますが、その他は統括として奉仕プロジェクト委員会があります。

近年、コロナ禍によりクラブの奉仕活動が十分に行えない状況です。国際交流にいたっては、お互いの交流がままならない状況であり、韓国のナムソルロータリークラブとズームによる交流を2022-23年度に実施すべく検討をしています。

また、社会奉仕・青少年奉仕委員会が実施していた、児童養護施設恩寵園の子供たちとの日帰りのバスハイクは中止を余儀なくされています。コロナの早期の終息を願うばかりです。

昨年は、新たに社会奉仕活動として「生理の貧困」活動への支援を実施いたしました。具体的には江上会長、池田委員長による親睦チャリティゴルフ大会を開催し、チャリティを活動団体へ寄付金を渡しました。今年もこの事業は継続しています。こうしたチャリティコンペに参加するという具体的な活動が我々ロータリアンとして社会に役立っていることを自覚できる機会となっていると思います。

クラブの各委員会が実施する奉仕活動に多くのロータリアンが積極的に参加・実践することが奉仕活動の活性化につながると思います。

まとまりのない話となりましたが、奉仕活動のあるべき姿のテーマの理解の一助となれば幸いです。

ガバナーへの質疑応答

曽我会員

「I serve」について具体的にどのようなことか？

- A. 個人としての奉仕活動、私は弁護士ですが職業上刑事弁護を国選にて報酬は定められています、被疑者の為に、いい弁護をしたいと思っておりますので、接見回数関係なく被疑者、被告と面談し少しでも良い結果になるよう活動することが、身近なserveであると考えてます。

穴倉会員

地区戦略計画の会員基盤の向上とは具体的にどのようなことか？

- A. 例えば、様々な人がいろいろな意見、思想の中一つの奉仕活動の目的に向かっていくことであると考えます。戦略計画には具体的な数値目標等が必要であると考えますが、各ガバナー年度にて設定を行なうことになっております。

加藤会員

クラブ特徴を生かした CLP について、どのようにお考えですか？

- A. DLP に関しては、ガバナー補佐任免問題がありますがコミュニケーションが一番大事なことであると考えます。CLP に関しては地区研修委員会において実践的にアンケートを実施し、結果を基に対策を打つことが必要であると考えます。小さなクラブでは合理的なクラブ運営を行う必要があると思いますので、規模的に CLP を取り入れるには、一番行いやすい環境であるともいえます。地区からは積極的に取り入れていただきたいのは山々ですが、各クラブの問題であり各々で最終的に決定したいと思っています。

小倉ガバナー講評

色々なご意見ありがとうございました。

正に会長が示された中長期計画が実行されれば達成できる内容であると思います。しかしながら、コロナの影響で活動が停滞し、クラブの特徴が生かし切れていない状況であると思いますが、計画達成されること期待をしております。

武田委員長より話ありました、効率良く効果ある活動が大切だと思います。そうすることで活性化し、魅力あるクラブになると思います。また、穴倉委員長より一人一人が出来る奉仕活動を着実に実践すれば魅力あるクラブになり、地域の小さなニーズを的確に掴んで実践し、広い範囲に伝播していく事が大切であると思いました。

ニコニコ BOX

加藤会員

小倉ガバナー御苦労様です。

穴倉会員

小倉ガバナー本日はありがとうございます。大変参考になりました。

江上会長

小倉ガバナー、星ガバナー補佐、織田地区幹事長、小柳地区幹事、岡村地区幹事、渡邊ガバナー補佐担当、皆様出席ありがとうございます。今期よろしくお願いします。

手塚幹事

本日は小倉ガバナー、星ガバナー補佐、織田地区幹事長、小柳地区幹事、岡村地区幹事、渡邊ガバナー補佐担当、お越しいただきありがとうございました。

合計 22,000 円
累計 203,000 円

創 立：1991 年 1 月 21 日

認 証：1991 年 3 月 6 日

例会場：ホテルニューオータニ幕張

点 鐘：毎月曜日 18：30

事務局：264-0037 千葉市若葉区源町 108 2 階

T E L：043(251)2790 FAX：043(251)2726

Email：rotary-office@chiba-higashi.jp

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員会 坂下 雅紀